

# 一般廃棄物及び産業廃棄物の発生量等の将来予測について

## 一般廃棄物に関する予測結果

### 1 過去の実績に即した予測結果

一般廃棄物の排出原単位（一人あたりの排出量）の経年変化を基に予測を行ったところ、一般廃棄物の総排出量は減少傾向を示し、平成 33 年度の総排出量は 2,474 千トン（平成 26 年度から 3.0%減少と予測された）。

処理・処分状況としては、減量化量、再生利用量、最終処分量ともに減少傾向を示した。

ごみ総排出量に対する一人一日あたりのごみの量は、減少傾向で推移すると予測されたが、処理しなければならないごみの一人一日あたりの量及び一人一日あたりの家庭系ごみ排出量は横ばいで推移する結果となった。

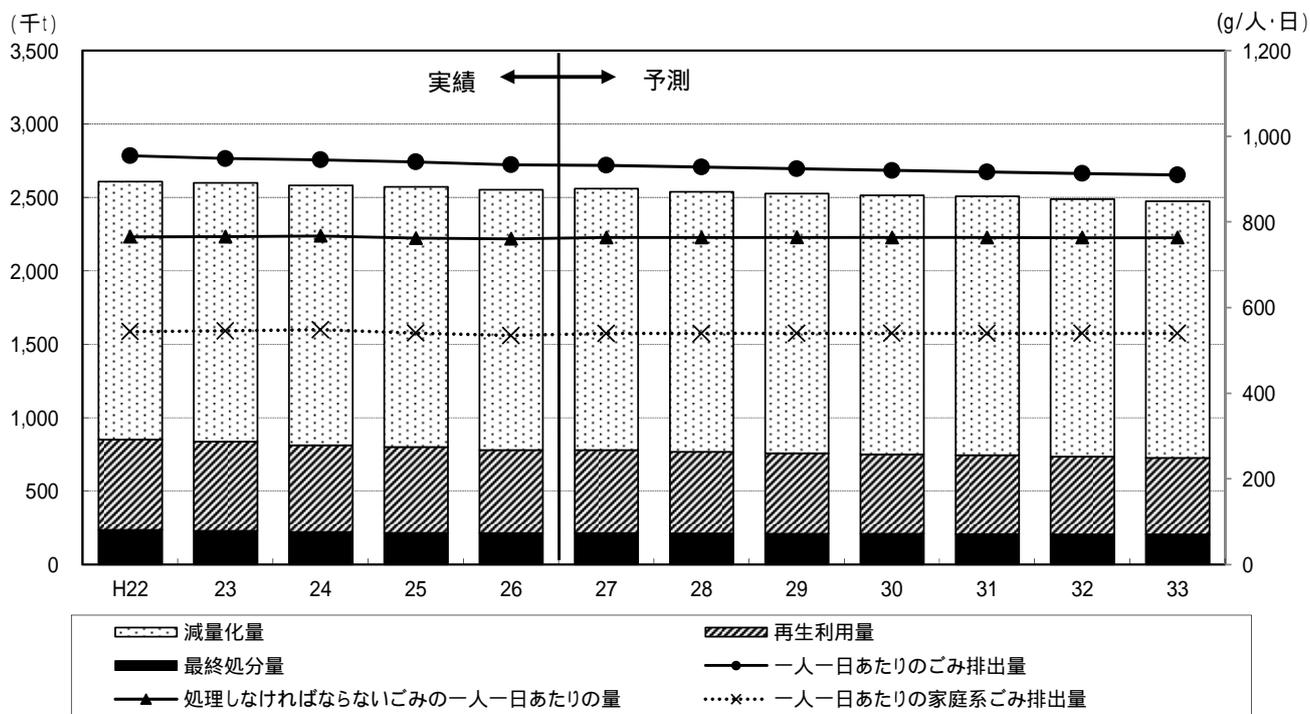


図 ごみの総排出量と最終処分量の推移（H22～26実績による推計）

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移（H22～26実績による推計）

	人口	ごみ総排出量		処理しなければならないごみの量		家庭系ごみ排出量		再生利用量	減量化量	最終処分量	
		人	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン				一人一日あたり g/人日
実績	H22	7,484,228	2,607 (102.2%)	954 (102.2%)	2,090 (100.6%)	765 (100.6%)	1,485 (101.6%)	544 (101.7%)	614 (108.2%)	1,757 (99.2%)	236 (110.9%)
	23	7,490,140	2,600 (101.9%)	948 (101.6%)	2,098 (101.0%)	765 (100.6%)	1,496 (102.3%)	546 (102.0%)	608 (107.0%)	1,762 (99.5%)	229 (107.8%)
	24	7,484,099	2,581 (101.2%)	945 (101.2%)	2,096 (100.9%)	767 (100.9%)	1,498 (102.5%)	548 (102.5%)	589 (103.6%)	1,770 (100.0%)	222 (104.5%)
	25	7,494,346	2,572 (100.8%)	940 (100.7%)	2,085 (100.3%)	762 (100.2%)	1,479 (101.2%)	541 (101.1%)	584 (102.8%)	1,773 (100.2%)	215 (100.9%)
	<b>26</b>	<b>7,487,071</b>	<b>2,551 (100.0%)</b>	<b>934 (100.0%)</b>	<b>2,078 (100.0%)</b>	<b>760 (100.0%)</b>	<b>1,462 (100.0%)</b>	<b>535 (100.0%)</b>	<b>568 (100.0%)</b>	<b>1,770 (100.0%)</b>	<b>213 (100.0%)</b>
予測値	27	7,499,140	2,559 (99.3%)	932 (99.9%)	2,095 (100.8%)	763 (100.4%)	1,481 (101.3%)	539 (100.9%)	566 (99.6%)	1,779 (100.5%)	214 (100.5%)
	28	7,493,088	2,539 (99.5%)	928 (99.4%)	2,088 (100.5%)	764 (100.4%)	1,476 (101.0%)	539.6 (100.9%)	556 (97.9%)	1,771 (100.0%)	212 (99.6%)
	29	7,487,054	2,526 (99.0%)	924 (99.0%)	2,087 (100.4%)	764 (100.4%)	1,475 (100.9%)	539.7 (100.9%)	548 (96.5%)	1,767 (99.8%)	210 (99.8%)
	30	7,481,038	2,513 (98.5%)	920 (98.6%)	2,085 (100.3%)	764 (100.4%)	1,474 (100.8%)	539.7 (100.9%)	541 (95.2%)	1,763 (99.6%)	209 (98.2%)
	31	7,475,039	2,508 (98.3%)	917 (98.2%)	2,089 (100.5%)	763 (100.4%)	1,477 (101.0%)	539.8 (100.9%)	536 (94.3%)	1,764 (99.6%)	208 (97.9%)
	32	7,469,059	2,489 (97.6%)	913 (97.8%)	2,081 (100.1%)	763 (100.4%)	1,472 (100.7%)	539.9 (100.9%)	528 (92.9%)	1,755 (99.1%)	206 (97.0%)
	33	7,450,509	2,474 (97.0%)	910 (97.4%)	2,075 (99.9%)	763 (100.3%)	1,468 (100.5%)	540.0 (101.0%)	521 (91.7%)	1,748 (98.7%)	205 (96.3%)

参考

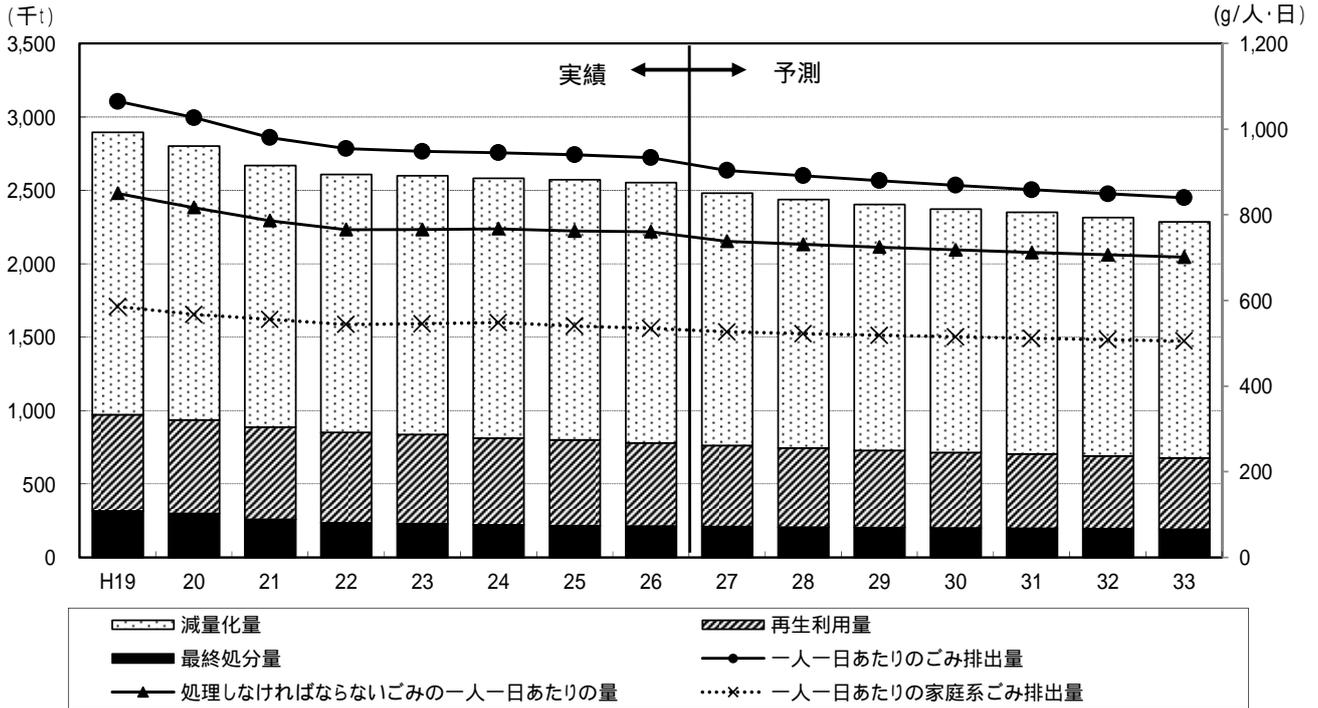


図 ごみの総排出量と最終処分量の推移 (H19～26 実績による推計)

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移 (H19～26 実績による推計)

	人口	ごみ総排出量		処理しなければならないごみの量		家庭系ごみ排出量		再生利用量	減量化量	最終処分量	
		人	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン				一人一日あたり g/人日
実績	H19	7,428,977	2,895 (113.5%)	1,065 (114.1%)	2,311 (111.2%)	850 (111.8%)	1,592 (108.9%)	586 (109.5%)	655 (115.3%)	1,924 (108.7%)	316 (148.7%)
	20	7,475,209	2,801 (109.8%)	1,027 (110.0%)	2,228 (107.2%)	817 (107.4%)	1,548 (105.9%)	567 (106.0%)	638 (112.4%)	1,865 (105.3%)	298 (140.2%)
	21	7,458,643	2,669 (104.6%)	980 (105.0%)	2,140 (103.0%)	786 (103.4%)	1,513 (103.5%)	556 (103.9%)	628 (110.5%)	1,782 (100.7%)	259 (121.6%)
	22	7,484,228	2,607 (102.2%)	954 (102.2%)	2,090 (100.6%)	765 (100.6%)	1,485 (101.6%)	544 (101.7%)	614 (108.2%)	1,757 (99.2%)	236 (110.9%)
	23	7,490,140	2,600 (101.9%)	948 (101.6%)	2,098 (101.0%)	765 (100.6%)	1,496 (102.3%)	546 (102.0%)	608 (107.0%)	1,762 (99.5%)	229 (107.8%)
	24	7,484,099	2,581 (101.2%)	945 (101.2%)	2,096 (100.9%)	767 (100.9%)	1,498 (102.5%)	548 (102.5%)	589 (103.6%)	1,770 (100.0%)	222 (104.5%)
	25	7,494,346	2,572 (100.8%)	940 (100.7%)	2,085 (100.3%)	762 (100.2%)	1,479 (101.2%)	541 (101.1%)	584 (102.8%)	1,773 (100.2%)	215 (100.9%)
	<b>26</b>	<b>7,487,071</b>	<b>2,551 (100.0%)</b>	<b>934 (100.0%)</b>	<b>2,078 (100.0%)</b>	<b>760 (100.0%)</b>	<b>1,462 (100.0%)</b>	<b>535 (100.0%)</b>	<b>568 (100.0%)</b>	<b>1,770 (100.0%)</b>	<b>213 (100.0%)</b>
予測値	27	7,499,140	2,480 (97.2%)	904 (96.8%)	2,026 (97.5%)	738 (97.1%)	1,445 (98.9%)	526 (98.4%)	552 (97.2%)	1,719 (97.1%)	209 (98.3%)
	28	7,493,088	2,438 (95.6%)	891 (95.5%)	1,999 (96.2%)	731 (96.1%)	1,429 (97.7%)	522 (97.7%)	538 (94.7%)	1,694 (95.7%)	205 (96.5%)
	29	7,487,054	2,404 (94.2%)	880 (94.2%)	1,979 (95.2%)	724 (95.2%)	1,417 (96.9%)	519 (96.9%)	526 (92.6%)	1,676 (94.6%)	203 (95.2%)
	30	7,481,038	2,373 (93.0%)	869 (93.1%)	1,960 (94.3%)	718 (94.4%)	1,406 (96.2%)	515 (96.3%)	515 (90.7%)	1,658 (93.6%)	200 (93.9%)
	31	7,475,039	2,349 (92.1%)	859 (92.0%)	1,948 (93.7%)	712 (93.6%)	1,399 (95.7%)	511 (95.6%)	506 (89.1%)	1,645 (92.9%)	198 (93.0%)
	32	7,469,059	2,314 (90.7%)	849 (90.9%)	1,925 (92.6%)	706 (92.9%)	1,385 (94.8%)	508 (95.0%)	495 (87.2%)	1,624 (91.8%)	195 (91.6%)
	33	7,450,509	2,284 (89.5%)	840 (90.0%)	1,906 (91.7%)	701 (92.2%)	1,374 (94.0%)	505 (94.4%)	486 (85.5%)	1,606 (90.7%)	192 (90.3%)

## 2 市町村の計画値による予測結果

各市町村の一般廃棄物処理計画を基に予測を行ったところ、一般廃棄物の総排出量は減少傾向を示し、平成 33 年度の総排出量は 2,464 千トン(平成 26 年度から 3.4%減少)と予測された。

処理・処分状況としては、減量化量及び最終処分量ともに減少傾向を示し、再生利用量は増加傾向を示した。

ごみ総排出量に対する一人一日あたりのごみの量は、減少傾向で推移すると予測されたが、処理しなければならないごみの一人一日あたりの量及び一人一日あたりの家庭系ごみ排出量は横ばいで推移する結果となった。

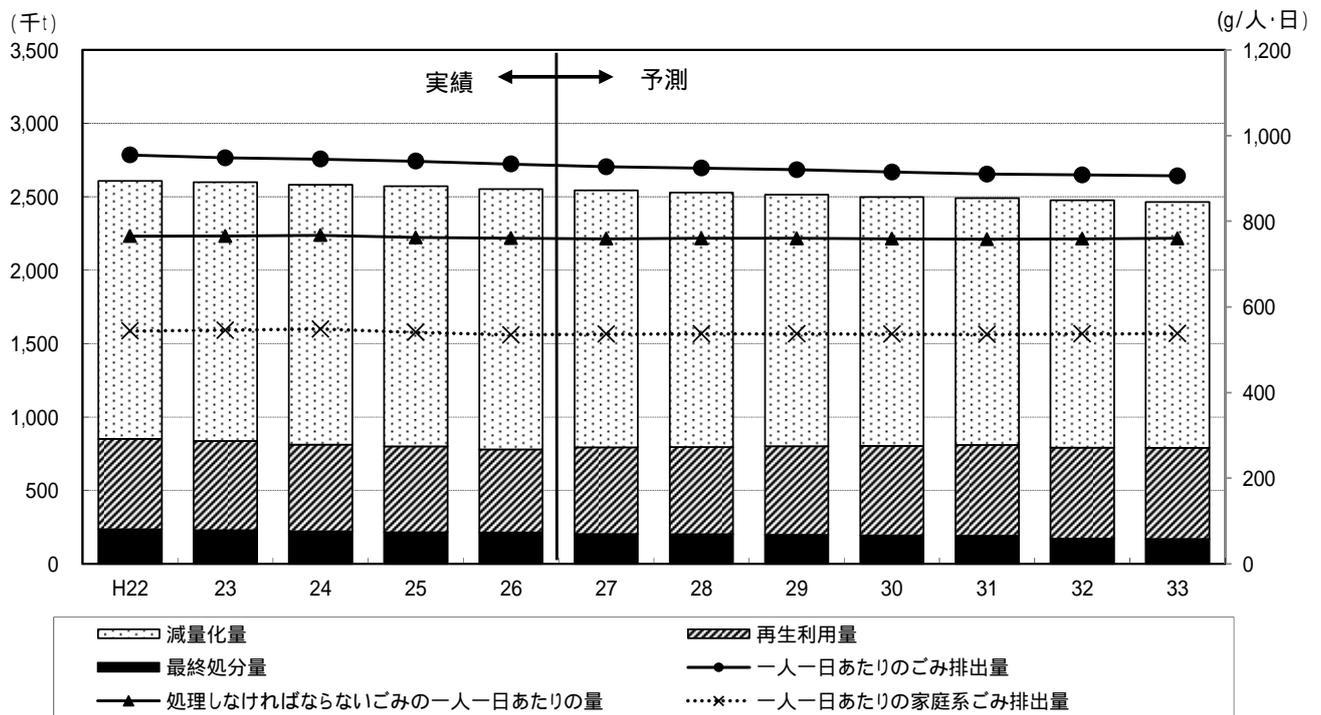


図 ごみの総排出量と最終処分量の推移

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移

	人口	ごみ総排出量		処理しなければならないごみの量		家庭系ごみ排出量		再生利用量	減量化量	最終処分量	
		人	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン				一人一日あたり g/人日
実績	H22	7,484,228	2,607 (102.2%)	954 (102.2%)	2,090 (100.6%)	765 (100.6%)	1,485 (101.6%)	544 (101.7%)	614 (108.2%)	1,757 (99.2%)	236 (110.9%)
	23	7,490,140	2,600 (101.9%)	948 (101.6%)	2,098 (101.0%)	765 (100.6%)	1,496 (102.3%)	546 (102.0%)	608 (107.0%)	1,762 (99.5%)	229 (107.8%)
	24	7,484,099	2,581 (101.2%)	945 (101.2%)	2,096 (100.9%)	767 (100.9%)	1,498 (102.5%)	548 (102.5%)	589 (103.6%)	1,770 (100.0%)	222 (104.5%)
	25	7,494,346	2,572 (100.8%)	940 (100.7%)	2,085 (100.3%)	762 (100.2%)	1,479 (101.2%)	541 (101.1%)	584 (102.8%)	1,773 (100.2%)	215 (100.9%)
	<b>26</b>	<b>7,487,071</b>	<b>2,551 (100.0%)</b>	<b>934 (100.0%)</b>	<b>2,078 (100.0%)</b>	<b>760 (100.0%)</b>	<b>1,462 (100.0%)</b>	<b>535 (100.0%)</b>	<b>568 (100.0%)</b>	<b>1,770 (100.0%)</b>	<b>213 (100.0%)</b>
	27	7,499,140	2,544 (99.7%)	927 (99.3%)	2,084 (100.3%)	759 (99.8%)	1,472 (100.7%)	536 (100.3%)	589 (103.7%)	1,751 (98.9%)	204 (95.9%)
予測値	28	7,493,088	2,527 (99.1%)	924 (99.0%)	2,079 (100.0%)	760 (100.0%)	1,469 (100.5%)	537 (100.4%)	594 (104.5%)	1,732 (97.8%)	201 (94.6%)
	29	7,487,054	2,514 (98.6%)	920 (98.6%)	2,077 (100.0%)	760 (100.0%)	1,468 (100.4%)	537 (100.4%)	604 (106.3%)	1,714 (96.8%)	197 (92.7%)
	30	7,481,038	2,498 (97.9%)	915 (98.0%)	2,072 (99.7%)	759 (99.8%)	1,465 (100.2%)	536 (100.3%)	609 (107.3%)	1,694 (95.7%)	194 (91.4%)
	31	7,475,039	2,489 (97.6%)	910 (97.5%)	2,073 (99.8%)	758 (99.7%)	1,466 (100.3%)	536 (100.2%)	617 (108.6%)	1,681 (94.9%)	192 (90.1%)
	32	7,469,059	2,476 (97.1%)	908 (97.3%)	2,070 (99.6%)	759 (99.8%)	1,464 (100.2%)	537 (100.4%)	619 (109.0%)	1,685 (95.2%)	172 (80.7%)
	33	7,450,509	2,464 (96.6%)	906 (97.0%)	2,067 (99.4%)	760 (99.9%)	1,462 (100.1%)	538 (100.5%)	619 (109.1%)	1,674 (94.6%)	170 (79.9%)

### 3 国の基本方針に基づく予測結果

国の基本方針に従って予測を行ったところ、他の手法と同様に一般廃棄物の総排出量は減少傾向を示すが、減少の傾きが大きくなっており、平成 33 年度の総排出量は 2,225 千トン（平成 26 年度から 12.8% 減少）と予測された。

処理・処分状況としては、減量化量及び最終処分量ともに減少傾向を示し、再生利用量は増加傾向を示した。

ごみ総排出量に対する一人一日あたりのごみの量、処理しなければならないごみの一人一日あたりの量及び一人一日あたりの家庭系ごみ排出量は同様の減少傾向を示した。

【参考】国の基本方針の目標値（平成 32 年度）

排出量	平成 24 年度比約 12% 削減
再生利用率	約 27% に増加
最終処分量	平成 24 年度比約 14% 削減

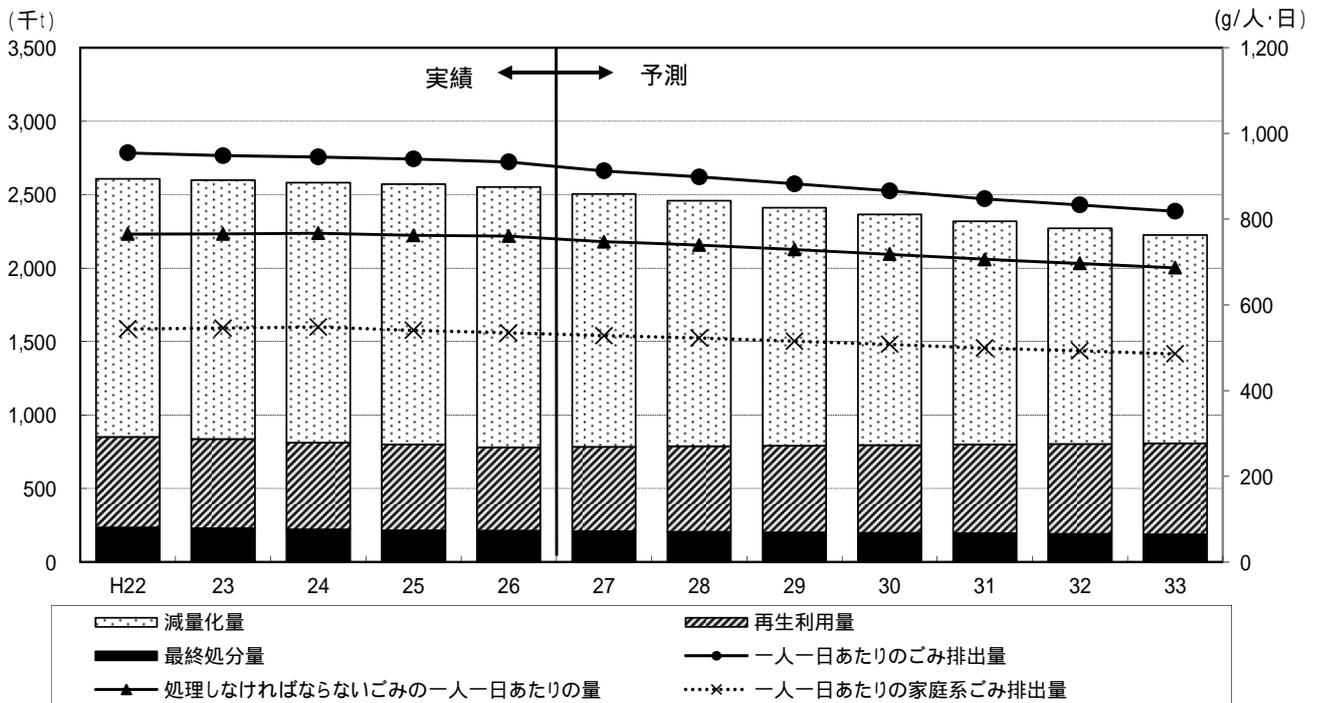


図 ごみの総排出量と最終処分量の推移

表 ごみの総排出量と最終処分量の推移

	人口	ごみ総排出量		処理しなければならないごみの量		家庭系ごみ排出量		再生利用量	減量化量	最終処分量										
		人	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン	一人一日あたり g/人日	千トン				一人一日あたり g/人日									
実績	H22	7,484,228	2,607	(102.2%)	954	(102.2%)	2,090	(100.6%)	765	(100.6%)	1,485	(101.6%)	544	(101.7%)	614	(108.2%)	1,757	(99.2%)	236	(110.9%)
	23	7,490,140	2,600	(101.9%)	948	(101.6%)	2,098	(101.0%)	765	(100.6%)	1,496	(102.3%)	546	(102.0%)	608	(107.0%)	1,762	(99.5%)	229	(107.8%)
	24	7,484,099	2,581	(101.2%)	945	(101.2%)	2,096	(100.9%)	767	(100.9%)	1,498	(102.5%)	548	(102.5%)	589	(103.6%)	1,770	(100.0%)	222	(104.5%)
	25	7,494,346	2,572	(100.8%)	940	(100.7%)	2,085	(100.3%)	762	(100.2%)	1,479	(101.2%)	541	(101.1%)	584	(102.8%)	1,773	(100.2%)	215	(100.9%)
	<b>26</b>	<b>7,487,071</b>	<b>2,551</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>934</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>2,078</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>760</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>1,462</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>535</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>568</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>1,770</b>	<b>(100.0%)</b>	<b>213</b>	<b>(100.0%)</b>
予測値	27	7,499,140	2,504	(98.2%)	912	(97.7%)	2,051	(98.7%)	747	(98.3%)	1,449	(99.1%)	528	(98.7%)	576	(101.3%)	1,720	(97.1%)	209	(98.3%)
	28	7,493,088	2,458	(96.3%)	899	(96.3%)	2,022	(97.3%)	739	(97.2%)	1,429	(97.7%)	522	(97.7%)	583	(102.7%)	1,669	(94.3%)	206	(96.6%)
	29	7,487,054	2,411	(94.5%)	882	(94.5%)	1,992	(95.9%)	729	(95.9%)	1,408	(96.3%)	515	(96.3%)	591	(104.0%)	1,619	(91.4%)	202	(94.9%)
	30	7,481,038	2,365	(92.7%)	866	(92.8%)	1,962	(94.4%)	718	(94.5%)	1,387	(94.9%)	508	(94.9%)	598	(105.3%)	1,568	(88.6%)	198	(93.3%)
	31	7,475,039	2,318	(90.8%)	847	(90.8%)	1,931	(92.9%)	706	(92.8%)	1,365	(93.4%)	499	(93.3%)	606	(106.6%)	1,517	(85.7%)	195	(91.6%)
	32	7,469,059	2,271	(89.0%)	833	(89.3%)	1,899	(91.4%)	697	(91.6%)	1,343	(91.9%)	493	(92.1%)	613	(108.0%)	1,467	(82.9%)	191	(89.9%)
	33	7,450,509	2,225	(87.2%)	818	(87.6%)	1,866	(89.8%)	686	(90.2%)	1,321	(90.4%)	486	(90.8%)	621	(109.3%)	1,416	(80.0%)	188	(88.2%)

## 産業廃棄物に関する予測結果

### 1 過去の実績に即した予測結果

業種別の製造品出荷額等の経年変化により予測を行ったところ、産業廃棄物の排出量は増加傾向を示し、平成 33 年度の排出量は 16,322 千トン(平成 26 年度から 7.0%増加)と予測された。

処理状況については、発生量の増加に伴って、有償物量、再生利用量、最終処分量とも増加傾向を示した。

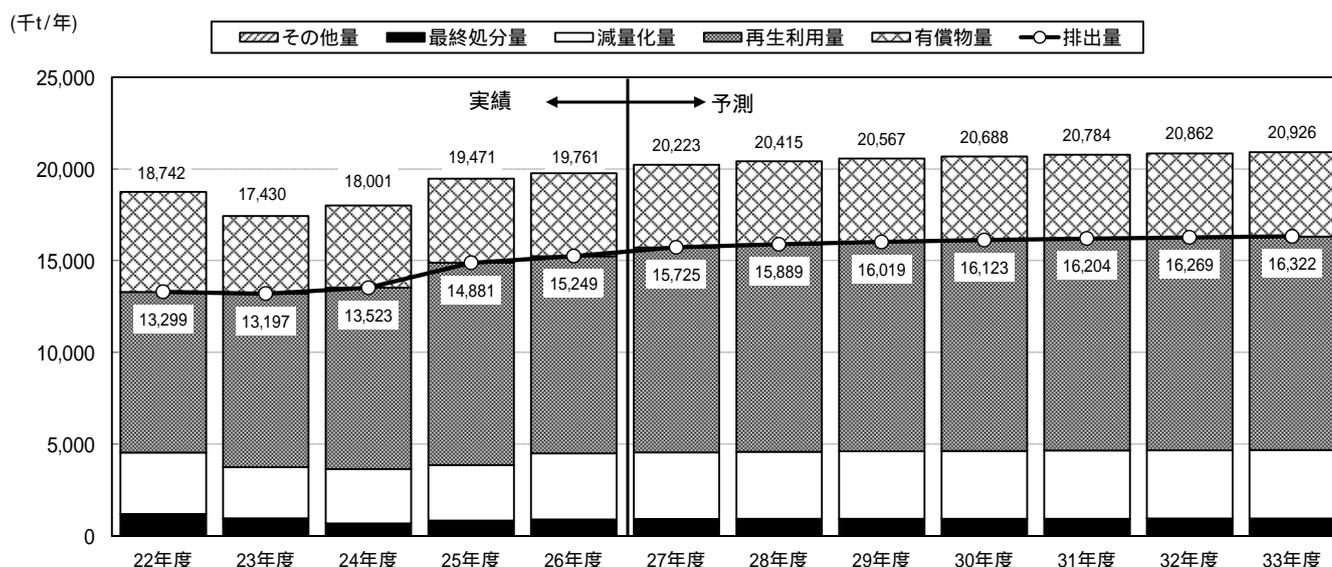


図 処理・処分量の将来予測 (H22～26 実績による推計)

表 処理・処分量の将来予測 (H22～26 実績による推計)

単位:千t/年

年度	実績					予測						
	平成 22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
発生量	18,742	17,430	18,001	19,471	19,761	20,223	20,415	20,567	20,688	20,784	20,862	20,926
排出量	13,299	13,197	13,523	14,881	15,249	15,725	15,889	16,019	16,123	16,204	16,269	16,322
有償物量	5,443	4,233	4,478	4,590	4,513	4,499	4,525	4,547	4,565	4,580	4,593	4,604
再生利用量	8,760	9,448	9,875	11,015	10,741	11,167	11,294	11,395	11,475	11,537	11,587	11,627
減量化量	3,353	2,786	2,972	3,028	3,604	3,629	3,657	3,679	3,697	3,712	3,723	3,733
最終処分量	1,185	962	674	837	896	920	929	936	942	946	950	953
その他量	1	1	1	1	9	9	9	9	9	9	9	9

参考

(千t/年)

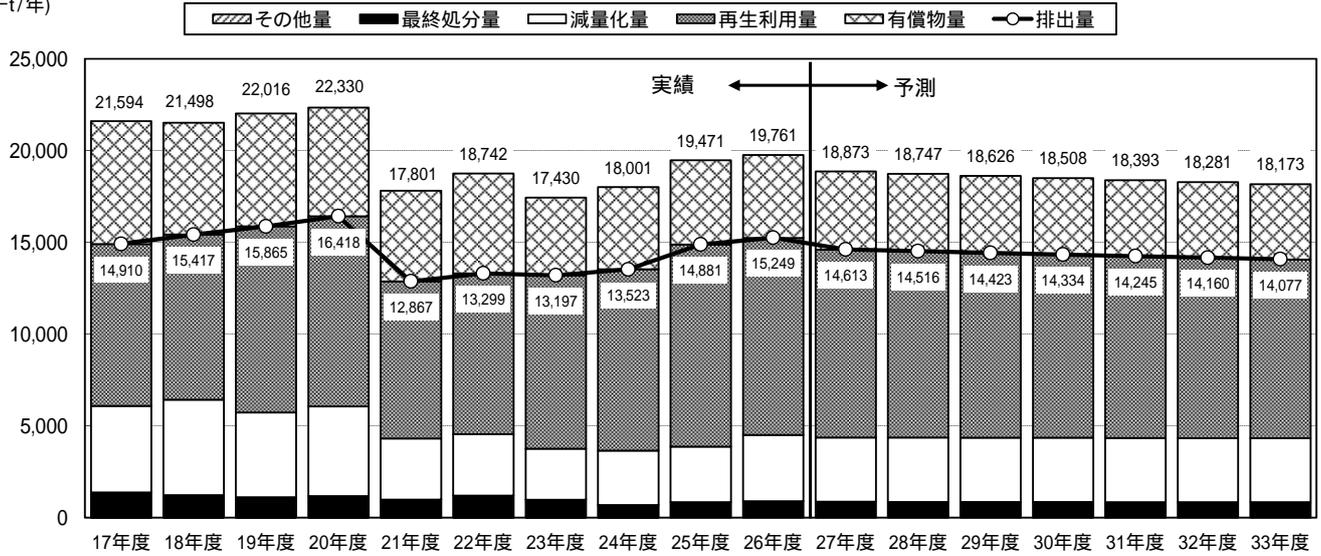


図 処理・処分量の将来予測 (H17～26 実績による推計)

表 処理・処分量の将来予測 (H17～26 実績による推計)

単位:千t/年

年度	実績										
	平成 17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
発生量	21,594	21,498	22,016	22,330	17,801	18,742	17,430	18,001	19,471	19,761	
排出量	14,910	15,417	15,865	16,418	12,867	13,299	13,197	13,523	14,881	15,249	
有償物量	6,684	6,081	6,151	5,912	4,934	5,443	4,233	4,478	4,590	4,513	
再生利用量	8,821	9,003	10,146	10,362	8,564	8,760	9,448	9,875	11,015	10,741	
減量化量	4,722	5,196	4,616	4,894	3,331	3,353	2,786	2,972	3,028	3,604	
最終処分量	1,360	1,218	1,103	1,162	972	1,185	962	674	837	896	
その他量	7	0	0	0	1	1	1	1	1	9	
年度	予測										
種類	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度				
発生量	18,873	18,747	18,626	18,508	18,393	18,281	18,173				
排出量	14,613	14,516	14,423	14,334	14,245	14,160	14,077				
有償物量	4,260	4,231	4,202	4,175	4,147	4,121	4,095				
再生利用量	10,238	10,147	10,061	9,978	9,898	9,821	9,747				
減量化量	3,505	3,504	3,502	3,499	3,496	3,492	3,488				
最終処分量	862	857	853	848	844	839	835				
その他量	8	8	8	8	8	8	8				

## 2 事業者の取組を考慮した予測結果

過去の実績に即した予測結果に事業者の排出量削減の取組等を反映させた場合、産業廃棄物の排出量は全体としては平成 27 年度に一端増加するものの、それ以降は緩やかに減少傾向を示し、平成 33 年度の排出量は 15,192 千トン(26 年度からは 0.4% 減少)と予測された。

処理状況について、再生利用量及び最終処分量については減少傾向を示し、有償物量については平成 29 年度までは横ばいで推移し、その後、減少傾向を示した。

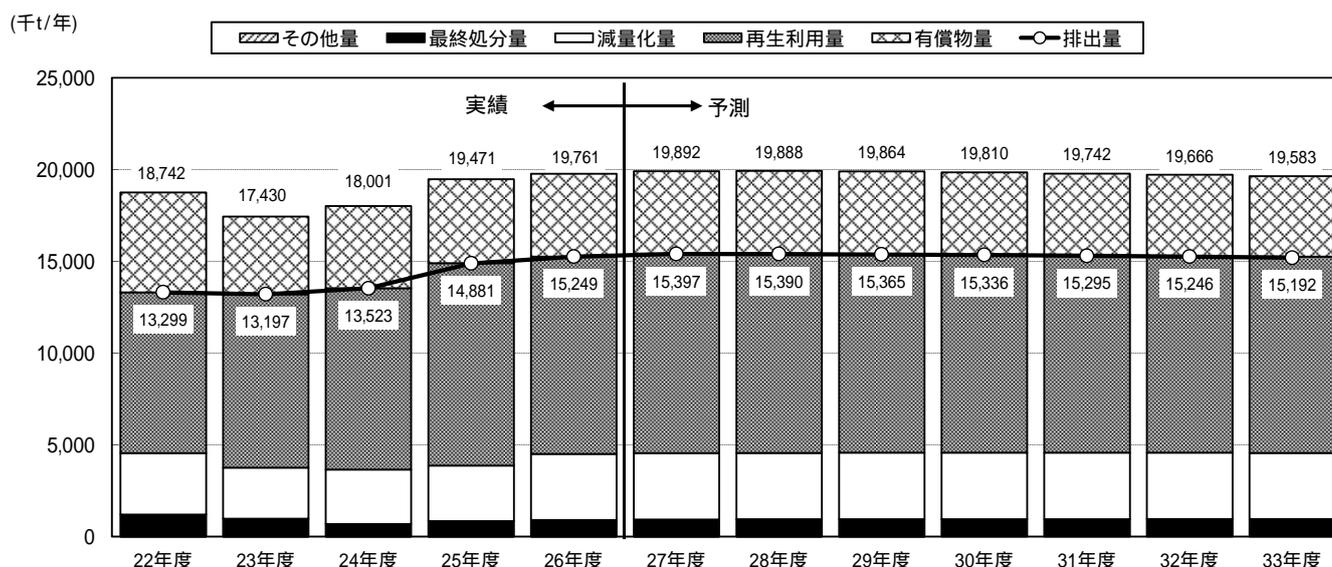


図 処理・処分量の将来予測（事業者の取組考慮）

表 処理・処分量の将来予測（事業者の取組考慮）

単位:千t/年

年度 種類	実績						
	平成 22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		
発生量	18,742	17,430	18,001	19,471	19,761		
排出量	13,299	13,197	13,523	14,881	15,249		
有償物量	5,443	4,233	4,478	4,590	4,513		
再生利用量	8,760	9,448	9,875	11,015	10,741		
減量化量	3,353	2,786	2,972	3,028	3,604		
最終処分量	1,185	962	674	837	896		
その他量	1	1	1	1	9		
年度 種類	予測						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
発生量	19,892	19,888	19,864	19,810	19,742	19,666	19,583
排出量	15,397	15,390	15,365	15,336	15,295	15,246	15,192
有償物量	4,496	4,499	4,499	4,474	4,447	4,420	4,391
再生利用量	10,874	10,859	10,830	10,806	10,773	10,733	10,689
減量化量	3,611	3,620	3,626	3,624	3,620	3,615	3,609
最終処分量	903	902	900	897	893	889	885
その他量	9	9	9	9	9	9	9

### 3 国の基本方針に基づく予測結果

国の基本方針に従って予測を行ったところ、産業廃棄物のは減少傾向を示し、平成33年度の排出量は13,709千トン（平成26年度から10.1%減少）と予測された。

処理状況について、有償物量及については増加傾向を示し、再生利用量及び最終処分量については減少傾向を示した。

なお、国の基本方針では再生利用率目標値は約56%とされているが、県の再生利用率は26年度で70.4%であり、既に国の目標値を上回っていることから、本予測では、将来にわたって現在の再生利用率が維持されるものとした。

#### 【参考】国の基本方針の目標値（平成32年度）

排出量	平成24年度に対し、増加を約3%に抑制
再生利用率	約56%に増加
最終処分量	平成24年度に対し、約1%削減

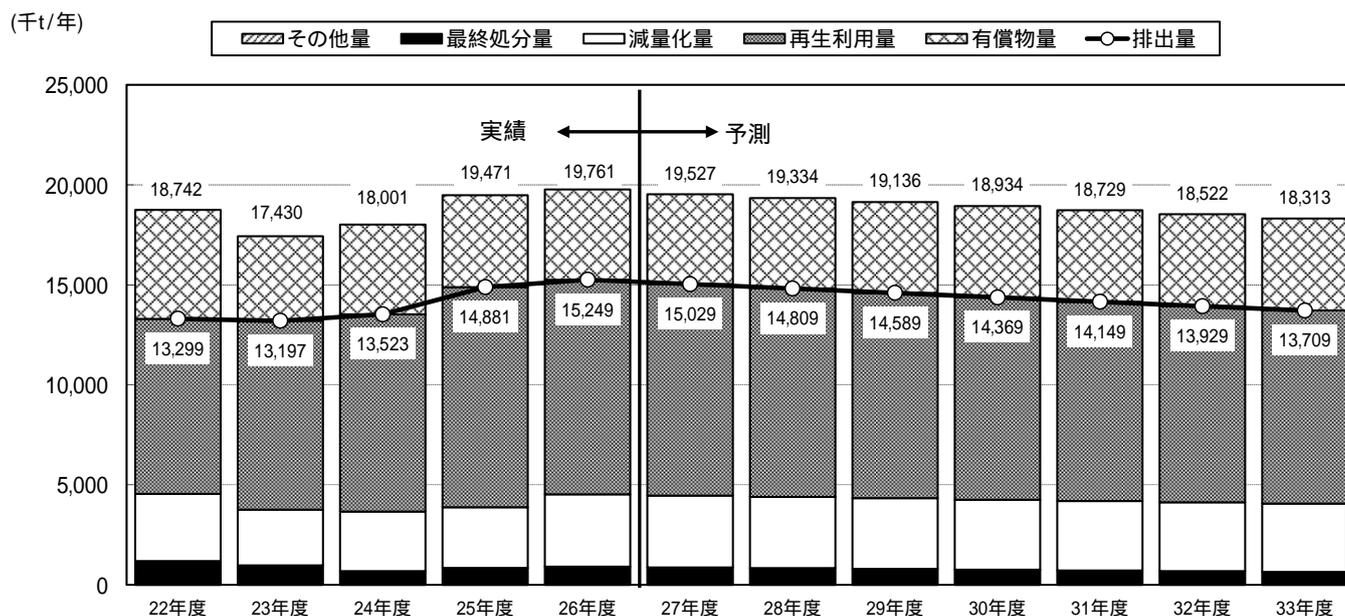


図 処理・処分量の将来予測（国の基本方針に基づく予測）

表 処理・処分量の将来予測（国の基本方針に基づく予測）

単位:千t

年度 種類	実績					予測						
	平成 22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
発生量	18,742	17,430	18,001	19,471	19,761	19,527	19,334	19,136	18,934	18,729	18,522	18,313
排出量	13,299	13,197	13,523	14,881	15,249	15,029	14,809	14,589	14,369	14,149	13,929	13,709
有償物量	5,443	4,233	4,478	4,590	4,513	4,499	4,525	4,547	4,565	4,580	4,593	4,604
再生利用量	8,760	9,448	9,875	11,015	10,741	10,580	10,425	10,270	10,116	9,961	9,806	9,651
減量化量	3,353	2,786	2,972	3,028	3,604	3,582	3,555	3,528	3,501	3,474	3,447	3,420
最終処分量	1,185	962	674	837	896	858	820	782	744	706	668	629
その他量	1	1	1	1	9	9	9	9	9	9	9	9